

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分](#) > 12月14日放送分 大型&特殊印刷で成功！ニッチ市場の経営術

## 12月14日放送分 大型&特殊印刷で成功！ニッチ市場の経営術

14日(TX・TVO)

15日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

16日(BSJ)放送

大型ポスターの印刷で国内の半分近くのシェアを占める、さいたま市の田中産業(株)  
(資本金4,000万円、従業員85名)。  
同社は、“他にない商品を持つこと”“他にない技術を持つこと”“他にないサービスを持つこと”を経営理念に掲げ、ニッチ市場に狙いを定め、大型印刷、厚紙印刷、点字印刷などの特殊印刷分野で業績を伸ばしている。  
そのユニークな印刷技術と経営方針を紹介する。

### 大型&特殊印刷で成功！ニッチ市場の経営術

[視聴覚教材No. TV14-37](#)  
[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



「田中産業の田中社長」

大型ポスター印刷分野で、国内シェアのおよそ半分を占めている田中産業(株)。全国に3万社もある印刷業界で、“自分たちにしか出来ないもの”求めた結果が大型印刷だった。

国内最大級の印刷機で、瞬時に2mのポスターが刷り上がる。

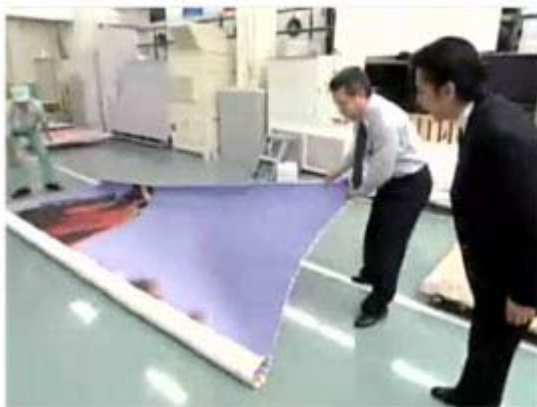


これがその印刷機。「最新式の機械ですか？」と尋ねる志垣さんに社長は、「40年前の機械です。アメリカから持ってきて、現代流に直しました。」と。



アメリカへ出かけ、稼動していた印刷機を購入。大きな賭けだったが、それを決心させてくれたのがこの大野さん(元 大手インキ会社の機械事業部長)。「他の会社が出来ないことを！」という言葉が、きっかけだった。

POINT: 他が出来ないことをやる



「自分たちが自慢出来る仕事がしたい！だったら大きなポスターで存在をアピール出来るのでは？」田中社長は、大野さんの話の中で気付いた。

一番大きな物は42枚つなぐという。四方全

ての色を合わせなければならない。数値的には全て同じように印刷するが、微妙に違ってくる。それを合わせるには…。



「今までの知識と積み重ね」と、この職場の責任者である齋藤さんは語る。どれだけ機械が優秀でも、最終的には人間の感覚が大きくものをいう印刷技術。この会社では、技術者として齋藤さんが目標。

POINT: たくさんの齋藤 (優秀な技術者) を持てるか



また、こちらでは、シルク印刷機械で点字を刷っている。



点字が出っ張っているが、裏は何も引っ込んでいない。押して点字を作っていないので、裏にも点字を刷ることが可能。『表と同じ品質の物を裏に印刷できる会社は、ここだけ』

この技術考えた中村さん。印刷のことを

全く知らなかったが、努力の甲斐があり、2ヶ月で完成させた。「知恵を出せる人がいないと新しいことは出来ない。」と社長は語る。



「大きな道路には大手というダンブカーが走っている。我々、三輪車では交通事故に巻き込まれてしまうので、大手の入れない細い道や横道に入れば路地があり、そこにチャンスがあるのでは。」

POINT: 大手が入れない路地りにこそビジネスチャンスがある



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN